

桜ヶ丘だより

第46号

発行所

関高等学校同窓会

岐阜県関市桜ヶ丘2-1-1

郵便番号 501-3903

電話(0575)22-5688

FAX(0575)23-7089

〈校訓〉

進取
至誠
錬磨

同窓会長挨拶



会長
堀部 哲夫

6月7日の関高校同窓会総会におきまして会長に再選頂きました。浅学非才な私にとりまして責任の重大さを感じております。同窓会役員、先生方をはじめ皆様方

のご支援なくして任務を全うできないと感じています。関高校同窓会全会員のご協力をお願い申し上げます。次第です。

関高校は7年後の2021年には創立100周年を迎えます。これからの数年間は、100周年を迎えるまでの準備の年になります。100周年を迎えるまでにやらなければならないことは何でしょうか？必要なことは3つあると考えています。1つは関高校同窓会の存在意義をより明確にし、会員の皆様にとつて真に必要な会にすること。2つ目に組織の

強化です。3つ目に100周年記念事業の資金作りだと考えています。

1つ目の関高同窓会の存在意義を考えましょう。例えば、何か災いが起きたとき同郷、同窓の者が駆けつけて手助けしてくれたり、どんなに心強いことでしょうか。大学を卒業して大きな会社に入社した時、そこに、関高の先輩がいて仕事や生活の面倒を見てくれたとしたらどうでしょう？大学に入学した時、遠く郷里から離れて暮らす時、そこで関高の同窓生が集まり励ましあえたなら如何でしょうか？そ

うした集まりの手助けをすることが関高同窓会の使命や意義ではないでしょうか？こうした活動のために、必要な情報を会員に流して役立てて頂きたいと思えます。もちろん、個人情報流出には十二分に注意を要した上でことです。

また、関高同窓生は学術文化、経済界など各方面で多くの方が活躍しています。そうして活躍されている方の現況や、展覧会や発表会などの情報を会員に伝えるのも本会の役目だと思えます。「桜ヶ丘だより」や関高校のホームページを通じてできるだけ皆様にお伝えしていきたいと思えます。会員各位からも何か情報が有りましたら、是非、学校までお知らせ下さい。

同窓会の存在意義を高める良い活動になるでしょう。多くの会員が住んでいるのに支部活動の無い地域が有ります。そうした地域での活動を活発にして、組織の強化を図っていききたいと思えます。

3つ目は、100周年に向けての資金作りです。関高同窓会の会費の納入率は20%を下回っています。上記の事業を成功させ、関高同窓会の存在感が増せば、多くの会員が喜んで会費を払って下さると考えています。これらの会費の多くは在校生の勉学の環境を良くするために利用されています。

この「桜ヶ丘だより」と同封しました会費の振込み依頼にどうかご協力をお願いします。7年後の100周年では、在校生の為に、そして同窓会全員の為に、素晴らしい記念事業が行われることを願うばかりです。

最後に、会員各位の益々のご隆昌、ご健康を祈念申し上げます。

学校長挨拶



学校長
加藤 昭二

同窓生の皆様には日頃から本校教育にご理解ご支援を賜り誠にありがとうございます。今春の定期人事異動により、斐太高等学から本校へ着任し、勤務させていただきます。

うぞよろしく願います。関高は、今年度93年目を迎えました。大正の世から、昭和の時代を経て、平成の今日まで、その時々の教育行政や制度により様々な変遷を重ねる中、取り巻く環境が変わっても、それぞれの時代に学ぶ生徒たちによって、伝統や本学の精神が受け継がれています。これまで、2万3千名を超える卒業生がこの学び舎を巣立ち、社会の様々な分野で活躍をされています。一方で、在校生は自主・自立の精神を現在に受け継ぎ、学習だけでなく、学校行事や文化、スポーツ活動にそれぞれが、一生懸命

命に取り組んでいます。また、同窓生の皆様からは、7年後の創立100周年に向け、本校教育に対して、いろいろな励ましの言葉を頂戴しています。つきましては、関高ホームページに新たに「同窓会」のコーナーを設置させていただきます。また、今年3月に岐阜県教育委員会から「第2次教育ビジョン（平成26年度～平成30年度）」が発表されました。今日の社会経済情勢や少子化社会など、教育を取り巻く環境の変化を踏まえたものとなっています。

その「重点政策」のひとつに、中長期的な将来を見据えた高等学校改革があり、理念は以下のとおりとなっています。

- 【目指す基本的な理念】
- ①リーダー性やグローバルな能力の育成
- ②社会経済の基盤を担う能力の育成
- ③自立して社会生活を営む基礎的能力の育成

これに関わって、本校は岐阜県教育委員会より、今年度から3年間の予定で、スーパーグローバル

ハイスクールの指定を受けました。生徒一人一人にコミュニケーション能力や問題解決等の国際的素養を身に付けさせ、多様な価値観を認めあえる「グローバル人材」の育成が求められているところで、これまでの取組の成果と課題を踏まえ、新たな視点で教職員と生徒、保護者が一体となって、本校教育の一層の充実を図ってまいりたいと考えています。

結びとしまして、さらなる歴史を刻む母校に対し、各界でご活躍の皆様から、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

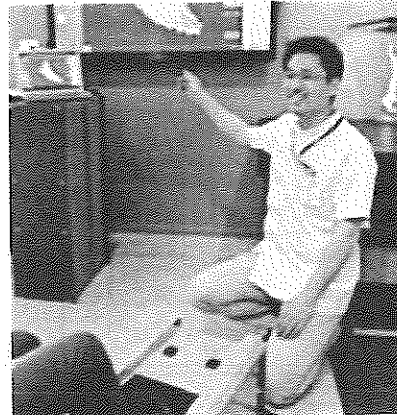
ヒューマニック株式会社

義肢装具士 堀江 耕太
(高52回生)

「義肢装具士という仕事を知っていますか」
整形外科などの医療機関で、医師の処方の下に義手や義足、コルセットやサポーターなどの装着部位の採寸・採型、製作及び身体への適応を行う職業です。

私は小中学生の頃からプラモデルや鉄道模型、自分で組み立てる車やヘリコプターのラジコンなど、手を使っただけのものが好きでした。しかし、次第に部品が揃い組み立てただけの物では満足できなくなり、自分で何かを考案し製作することの方が楽しくなりました。父が美術科の高校教師であったこともあり、月に1回は美術館へ出かける家庭で育ちましたので、類似するものが無いオーダーメイドの一品物に対しては特別な思いがありました。

高校生活は将来どんな職業に就きたいのか定めぬまま、帰宅後も友達とギターの練習をしたりして遊んでいたのですが、気がついてみれば高校3年生になっていました。いよいよ進路を決定しなくてはいけなくなり、自分が「進学しながら自由に進路を選びたい」と思うようになり、そこで比較的自由に学部を変更でき、学校も変更することができるアメリカの大学進学を決めました。



しかし、アメリカ留学中もどんな職業に就こうか悩んでいました。そんな時、日本に住む両親から電話があり「乳がんを胸を無くされた方に、人工乳房をオーダーメイドで製作する会社がある。義肢装具士という職業」ということを知らされました。人工乳房の他に、義手や義足も製作するとのこと。身体に装着するオーダーメイドの一品物のものづくりは自分に合っていると感じました。

自分の進むべき道がはっきりしたので、早速日本に戻り義肢装具士養成校を受験し入学しました。卒業後は多治見市にある民間義肢装具製作会社に入社し、3年間勤務しました。仕事内容は既製品サポーターの納品が大半で、オーダーメイドの一品物に携われる機会が少ないうえに現状でした。このままでは自分の技術が向上しないまま、ただ年を重ねるだけのような気がして、焦っていました。そこで、義手や義足中心の義肢装具製作会社を作ろうと独立を決定し、平成20年3月に開業しました。まず、義肢や装具を製作するための工具や機械を積んだ車で病院や患者宅に出

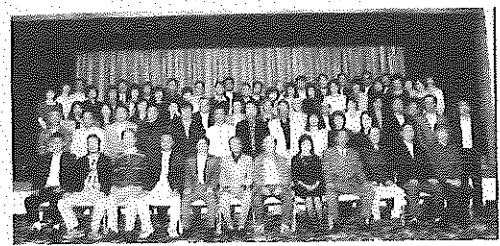
プロフィール

2000年3月 岐阜県立関高等学校 卒業
卒業後アメリカ留学
日本聴能言語福祉学院義肢装具学科を経て協和義肢製作所に勤務
2008年3月 義足工房「伽羅番」開業
2011年3月 ヒューマニック株式会社開業

同窓会に出席して

関高等学校
高27回生 学年同窓会
佐藤 敏則

平成11年と19年と今回で3回目の学年同窓会を73人の参加でみの観光ホテルにて開催いたしました。二階堂先生、岩田先生、尾関先生、杉山(高橋)先生の参加もあり、ひととき懐かしさがよみがえり楽しいひと時でした。先生も当時の私達を覚えてくださっており、それぞれの挨拶の中でその思い出を語られました。学年幹事は7クラス12人で構成されており平成11年の結成以来14年間に渡り毎年5月と11月に会合を開き同窓生の近況を報告しております。



詳しくはこちらをご覧ください
<http://sky.geocities.jp/sekikoob/>

加者から次回選任の節目に再会をしたい旨の希望が多く、選任を迎えた後の再会を約束して会場を後にしました。

さくらウインドオーケストラ
第5回定期演奏会

日時 平成27年2月、または3月
13:00 開場
13:30 開演
場所 関市文化会館大ホール
指揮 高井律子

問い合わせ先

電話: 090-2948-3879
(粥川 遼 高54回生)
メール: sekisui.ob@hotmail.co.jp